

2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

崎枝裕次 1982年1月5日生まれ 竹富町出身
2000年 県立那覇西高校卒業
2011年に石垣島ドリーム観光に入社
2022年に竹富町議会議員選挙初当選
国民民主党沖縄県連政調会長

玉城県政の支持 支持する / 支持しない

ワシントン事務所設置における不透明な事務処理や、議会への説明不足に象徴されるように、現在の県政運営は杜撰と言わざるを得ない。目玉公約であった給食費無償化も中途半端であり、県民の期待を裏切っている。特に深刻な物価高への対策や、生活コストの重い離島住民への配慮が欠けている点は極めて大きな問題だ。知事のリーダーシップが見えず、県民の苦境に寄り添う姿勢が感じられない現状では、現県政を支持することはできない

高市政権の支持 支持する / 支持しない どちらでもない

高市総理が「年収の壁」撤廃やガソリン税廃止の道筋をつけた点は評価に値する。しかし、自身の信任を問う解散を優先した結果、令和8年度予算案の年度内成立が絶望的となり、国民生活に多大な混乱を招く事態は看過できない。これまでの信頼を揺るがす行為であり、手放しでの支持は困難だ。我々は今後も「対決より解決」の姿勢を貫き、他党との連携も視野に、掲げた政策の実現と山積する課題の解決に全力を尽くしていく。

今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

実質賃金の上昇が物価高に追いつかない今、物価高対策の実行をいかに迅速に行うかが最大の争点である。国民民主党は「もっと、手取りを増やす」を掲げ、50年間放置されたガソリン暫定税率の廃止や「年収の壁」の撤廃に挑み、着実に道筋をつけてきた。本選挙は、こうした取組を継続させ、どの勢力が最も現実的かつ迅速に国民生活を守れるかを問うものだ。

最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

①経済・雇用 ②米軍基地問題 ③安保政策・自衛隊配備 ④医療・福祉 ⑤教育・子育て ⑥沖縄振興計画 ⑦その他

物価高や燃料高騰で県民生活は逼迫しており、早急な対応が不可欠だ。この構造的な地理的不利性を克服するため、国による特別制度の創設が必要。例えば先島諸島間の航路を「海の国道」と位置づけ、補助の大幅拡充に取り組むことを提案する。また観光振興も、ハード交付金の拡充により県道等の未整備区間を早期に解消するなど、インフラ整備を急ぐべきだ。県民を守るための投資が経済を循環させる。

普天間基地の辺野古移設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対 どちらでもない

普天間飛行場の1日も早い危険性除去こそが移設計画の原点であり、その実行は政治の重大な責任である。しかし、移設先の軟弱地盤判明により、完成時期の大幅な遅延や建設費用の増大が懸念されている。この深刻な現状を重く受け止め、完了までの期間短縮やコスト管理の徹底、さらには1日も早く閉鎖状態にするなどの現実的な解決策について、日米両政府間で改めて協議を尽くすべきである。

南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

①推進 ②容認 ③反対 どちらでもない

先島諸島への自衛隊配備は、厳しさを増す安全保障環境下で避けられない課題である。だが、肝心の有事における住民避難の具体策は未だ不十分だ。離島住民の不安解消には、国が実効性のある移動計画を早期に示し、実際に移動を伴う避難訓練を重ねることが不可欠である。とりわけ移動手段の確保に向けた検討や実証事業を早急に実施すべきだ。有事を想定した実効的な備えこそが、住民の命を守る政治の責務である。